

# 若いちから

題字:第57代理事長 小泉 富裕



皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申上げます。日頃より先輩諸氏の皆様には、現役メンバーオンにしご指導・ご協力をいただき、改めて深く感謝申し上げます。また、七月七日に「築き積み重ねてきた軌跡」輝く未来のため、「」のテーマを掲げ七月第一例会OB例会を開催しました。私たちの活動、運動も年当初掲げた目標に向かい順調に進展しているところであります。しかしながら、残りのヶ月の中で市民とのつながりからなる公益事業や大切な会も残しております。残り四ヶ月も笑顔で更なる情熱をもって、我われが目指す「明るい豊かな社会」の実現を目指してメンバー全員で行動する所存でございますので、先輩諸氏の皆様には、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申上げます。

八月一日に開催いたしました八月臨時総会におきまし会いた任四はて、二〇一五年度公益社団法人北見青年会議所の役員承認をうながら二〇一五年度、素晴らしいスタートをきります。帰山理事長予定者をはじめとする役員の皆様、委員会を構成する全メンバーの皆様には、二〇一五年度に向け覚悟をもつて取り組んでまいります。本年度そして二〇一五年度になりますが、残りの四ヶ月も本年度のスローガン「笑顔と情熱に溢れる行動こそが未来へつながる!」自らの魂を奮い起こし輝く未来へ向かって行動しよう!」のもと覚悟に対しましても、先輩諸氏の皆様のご指導、ご鞭撻を心から願い申上げます。



ご挨拶  
第五十七代理事長  
小泉 富裕

## 10月第1例会 第6回 北見ハーフマラソン大会

担当 地域協働委員会

日頃より公益社団法人北見青年会議所の活動に対して格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、地域づくりを担う人づくりを行うため市民有志とともに実行委員会を組織し、この地域の活性化と地域の魅力の発信を目的として、2009年より開催しております北見ハーフマラソン大会も本年第6回大会を迎えることとなりました。昨年の第5回大会では、爽やかに晴れ渡ったオホーツクブルーの空のもと、道内外から約2,500名のランナーを迎え盛大に開催することができました。新設の未就学児童を対象とした親子ペアには多くの参加者が集まり、より出店数を充実させたグルメコーナーも大変好評で、来場された多くの方々に、北見の秋の一日を楽しんでいただくことができました。地域に根差した事業になりつつあるこの大会には、約400名もの市民がボランティアとしてご協力くださいました。これも偏にOBの皆様からのご協力の賜物と深く感謝しております。

本年第6回大会では、日本陸連の公認コースを取得することにより、家族揃って楽しめるアットホームな大会の良さを残しつつ、競技志向のランナーにも認めていただける大会運営を目指しています。ゲストランナーには、昨年に引続いての出場となる谷川真理さんに加え、「日本最速の市民ランナー」として人気が高い川内優輝選手にも出場いただきます。会場で北見の秋の味覚を楽しんでいただくとともに、北見に来てくださるランナーの皆様に北見の街を満喫していただきたくため特典付飲食店マップの配布も行います。

OBの皆様方のこの地域に対する思いをしっかりと受け継ぎ、行政・企業・地域住民が一体となったこの事業を盛大に開催することにより、この地域を盛り上げ、この地域の魅力を力強く発信してまいります。この地域を明るく元気にしていくため、本事業に対して変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大会開催日：2014年10月12日(日)

ランナー申込受付期間：9月12日まで



## ●受付方法●

- インターネット(大会公式ホームページ)  
<http://www.kitami-halfmarathon.jp/>
- 参加申込用紙(市内公共施設等に設置)

## 活動報告をブログ公開しています!!

2014年度 北見JC公式HP  
<http://kitamijc.or.jp/>

2014年度 北見JC活動報告 ブログ  
<http://kitamijc11.blog96.fc2.com/>

2014年度 北見JC活動報告 Facebook  
<https://www.facebook.com/kitamijc>

第6回 北見ハーフマラソン Facebook  
<https://www.facebook.com/kitamihalfmarathon>



JCI 公益社団法人 北見青年会議所

〒090-0065 北海道北見市寿町3丁目1-19 TEL.0157-24-2762 FAX.0157-24-2769  
<http://www.kitamijc.or.jp> E-mail:info@kitamijc.or.jp

# 【対談】「輝く未来」愛する北見のために Vol.3 「社会奉仕」の連携

公益社団法人北見青年会議所が創立して六十二年目、そして社団法人から公益社団法人として法人格を移行し二年目。

「輝く未来のために」北見白樺ライオンズ会長近江強氏と、公益社団法人北見青年会議所第五十七代理事長小泉富裕君に、北見で活躍する団体の代表として、お互いに協力できることや、なすべきことについて語り合っていただきました。



# 北見白樺ライオンズクラブ 第38代会長

近江 強



公益社団法人北見青年会議所  
第57代理事長

小泉富裕

- 勤務先:株式会社 小泉建設工業
- 役職:代表取締役専務
- 経歴:2005年1月1日社団法人北見青年会議所入会、2007年まちづくり特別委員会 副委員長、2008年 地域力開発委員会 副委員長、2009年 地区大会特別会議 副議長、2010年 地域づくり委員会 委員長、2011年 北海道地区協議会 総務委員会 副委員長、2012年 60周年担当副理事長、2013年 専務理事、2014年 第57代理事長

**三橋委員長(以下M)**：青年会議所(以下JC)が掲げるJC三信条「修練」「奉仕」「友情」、ライオンズクラブ(以下LC)様の目的「世界人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」、「地域社会への奉仕活動をする」。今回は共通のテーマである『社会奉仕』について対談を行つていただき、色々なお話を伺いたいと思いますのでよろしくお願ひします。まずは、北見白樺LC近江会長様からお願ひします。

**近江会長(以下O)**：LC国際協会は、世界で一三〇万人会員を有する社会奉仕組織です。世界を共通してWe Serve(われわれは奉仕をする)という言葉をモットーに活動しており、毎月例会では、ライオンズの誓い「われわれは知性を高め友愛と相互理解の精神を養い平和と自由を守り進する」を齊唱しています。

創設者マルビン・ジョーンズにより、一九一七年アメリカ・イリノイ州シカゴで誕生し、一九五二年三月五日に世界で三十五番目となる東京LCが結成されました。そして一九七七年に四十六名のメンバーによって北見白樺LCが誕生しました。北海道は三地区に分かれており、札幌を中心としたA地区、稚内、釧路・根室・北見がB地区、胆振・苫小牧・函館がC地区、北海道はその地区ごとにガバナーというのが毎年出ており、ガバナーが誕生した地区がキャビネット事務局になります。各クラブの会長の言葉や、各地区の奉仕活動をトピックスで広報し、月刊誌により物故会員や新入会員を掲載して士気を高めていきます。どうぞ、ということでガバナーの下で動いています。

社会奉仕がテーマですが、各クラブにおいて奉仕の内容は異なり、北見白樺LCで一番長く継続している事業は、ドナドールという目の献血登録と献血運動です。それから赤い羽根募金や、手を繋ぐ育成会という療育キャンプ助成金の寄付、青少年育成に対しての助成金の寄付、変わったところでは四年前から三月三日ひな祭りに、全会員で保育園・幼稚園を回り手作りで桜餅を作つて食べていただくという奉仕活動です。奉仕活動も経済的助成金の支援と労働支援と分かれており、どちらかというと北見白樺LCは予算が少ないクラブですので労働支援みたいなもの、例えばごみ拾いを行うですとか、交通安全の旗を揚げるですか、年に一度消防署にミネラルウォーターの寄付を行つております。

今個人的に考えているのは、小学生の時に買つて



もらい不要になつたランドセルを、ベトナムやフィリピンなど財政的に恵まれない発展途上国の子供に寄贈したいという発想をしています。「ランドセルがいらなくなつた家庭は北見白樺LCに寄付して下さい」と、これは経費が掛からないんですね。ある程度、個数がまとまつたら発展途上国に寄付する。会長に就任したばかりですが、何か新しい活動を行いたいと思っている内に、すぐ一年が終わってしまうんですよ。新しいアクティビティというか、私の代で不可能でも次年度会長に継承していかねばいいなと。あともう一つ、JCさんや北見白樺LCはもちろん、奉仕活動を行つている様々な団体が集合し、年に一度「奉仕の日」というのを制定し、みんなで奉仕しましようという決起大会を行い、各団体から助成金を集めで記念に何か贈るとかできたら良いなと思うんですね。同じ奉仕活動を行つている団体でも、意外と接点や交流つて少ないんですね。先日、北見白樺LCは美幌にエコキャップを寄贈しましたが、北見JCさんも行つていますよね？

○小泉理事長(以下K)：北見JCもエコキヤツプ寄贈を行っています。

JC小泉理事長お願いします。

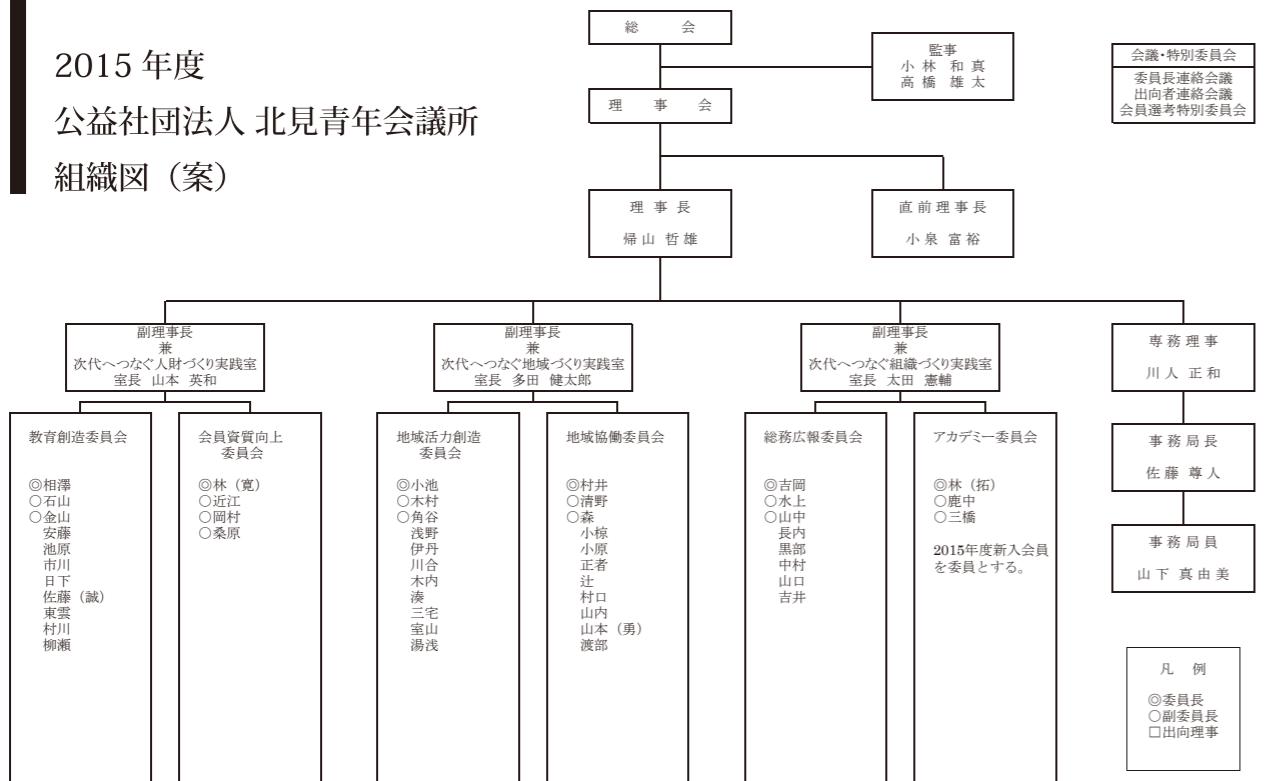
K：（公社）北見青年会議所は、JC三信条にも掲げていますが、自らの修練を積み重ね、社会への奉仕を行ない、共に友情を育む。そして日本はもちろん北海道、自分たちの住む地域を活性化し、明るい豊かな社会の実現という大きな目標を立て活動、運動を行つています。北見JCは大きな事業として、北見ぼんちまつりや北見ハーフマラソン大会があり、北見ハーフマラソン大会に関しては、市民と協働で設立した北見ハーフマラソン大会実行委員会を主体に活動しています。昨年は約二五〇〇名のエントリーがあり、その内約半分が北見市以外の参加者であり、今年は二八〇〇名を目標として準備を進めています。現在、順調にエントリーされており、市民はもちろん北見市外の方に来ていただき、まちを活性化するという意味では、非常に



有意義でためになる事業なのではないかという思いで、今後も継続しいつか市民の手で開催できるような形で進めていきます。

また、教育事業の一環として、高校生を対象にしたオホーツク学生連合が主体となり、高校生が自分たちの手で何ができるのかということを自分たちで会議を開催し、様々な奉仕活動や、まちづくりに携わる事業を行っています。先日は、FMオホーツク様に出演させていただき自分たちで企画したラジオ放送を行いました。さらには小学校四年生から六年生を対象にしたキャンプも行いました。その他に毎月例会を行っていますが、公益事業はこの三本柱を主体に活動、運動

# 2015 年度 公益社団法人 北見青年会議所 組織図 (案)



# 新入会員 募集中

本年度、小泉理事長が掲げました『皆の一歩が30名の拡大に』現在LOMメンバー65名全員で情報を集め、活動している所でございます。

本年は8名の卒業予定者おり、30名(47%)を目標としております。

日頃より現役メンバーを温かく見守り、ご支援いただいておりますOB会員の皆さんにはひき続き新入会員情報とお声掛けをお願い申し上げます。情報は現役メンバーもしくは総務広報・会員拡大委員会委員長三橋まで宜しくお願い致します。

# アカデミー委員会メンバー紹介



この度、公益社団法人北見青年会議所に入会させていただきました、北見石油販売(株)の村口悟と申します。



今まで地域振興や地域発展という事には自分には縁がない事と思っていたのですが、入会する事でJC活動を通じて、微力ながら社会貢献の一助が出来るよう、自分に出来る事はなんなのか、様々な事を経験し学びながら活動していきたいと思います。様々な人との出会いを自らの財産として、人間力の向上を図ると共に、仲間と共に協力し活動していくことに喜びを感じながら貴重な時間を過ごしていきたいと思っておりますので、今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

【勤務先】北見石油販売(株)

今後の例会

- ・9月5日(金)～7日(日)  
第63回 北海道地区大会 小樽大会(小樽)
  - ・10月12日(日)  
10月第1例会 第6回 北見ハーフマラソン大会(担当:地域協働委員会)
  - ・10月22日(水)  
次年度事業研究会
  - ・11月7日(金)  
11月例会(担当:地域振興委員会)
  - ・12月末定  
12月第1例会 家族例会(担当:アカデミー委員会)
  - ・12月19日(金)  
12月第2例会 卒業式(担当:総務広報・会員拡大委員会)

K：そうですね。北見JCも今年は六十五名でスタートし、全盛期の約一三〇名の半分になり、活動範囲が減少しているのは事実です。北見ハーフマラソン大会も、北見JCで企画しているということも意外に知られていないので、やはり広報をしつかり行うことで一緒に参加・参画したいという仲間が増えたと思います。



〇：参加・参画することによって達成感や満足感を得る。私はそれこそが奉仕の原点だと思いますし、みんなのパワーを結集して行うことが奉仕団体の意味合いだと思っています。無理に勧誘してその団体に入会させるのではなく、こんな素晴らしいことを行っている団体に私も入りたいと思われる組織にならなければいけないと思います。

K：それが理想ですね。これを機に、お互いの団体が連携や協力していくべきだと思います。

K：本来であれば、このような対談を行つてゐる広報誌「若いちから」をもつと市民に見ていただきたいのですが、予算の関係上ホームページやFacebookに掲載という形を取らせていただいているです。

**山本幹事(以下Y)**：一つ北見JCさんにお願いがあるのですが、せっかくこのような場を設けさせていただき、お互いの団体の活動内容は理解したのですが、やはりそれだけではこれで終わってしまうと思います。次年度の理事長や担当の委員長に、同じ志や気持ちを引き継いでいただければ、横の繋がりが継続していくのではと思います。その中でも活発な行動力を持つ北見JCさんが、率先して立ちあがり引っ張ついていただければ、様々な団体を纏めあげることができると確信しています。北見JCさんに立ち上がりついていただければ、北見白樺LCも他団体との連携を図る部署を立ち上げるよう、理事会や例会の動きかねた」と思ひます。

○：北見JCさんには期待しております。今日は貴重な場をありがとうございました。

K：こちらこそありがとうございました。

○：主導の時には、他の市民参加型の事業を行わなければ公益解散ということになり兼ねないので、市民と協働し三年、五年先を見据えた中で、お互いに連携や協力ををしてしっかりと市民に周知し伝播していきたいと思います。



北見白樺ライオンズクラブ	第三十八代会長	近江 強
幹事	山本 泰正	
第五十七代理事長	木内 寿樹	
小泉 富裕	三橋 裕樹	
阿カデミー委員会(カメラ担当)	木内 寿樹	
総務広報・会員拡大委員会 委員長	三橋 裕樹	

## 6月例会「Passion for the future～人(こころ)を動かすために～」

6月17日、アカデミー委員会のもと、「Passion for the future～人(こころ)を動かすために～」をテーマに人(こころ)に響くスピーチと人(こころ)を動かすプレゼンテーションを共に理解し、小泉理事長の所信にもある、これから多くの他団体、地域住民を巻き込む運動を展開していく大切さを学び実践できるようにすることを目的とした例会を開催いたしました。



## 7月第2例会「第61回 きたみばんちまつり」

7月18日～20日の3日間、地域交流委員会のもと、ばんちまつりが開催いたしました。地域住民に笑顔を伝播し、地域最大の交流の場を楽しんでいただくことで、人と地域が笑顔で結ばれ、その笑顔溢れる地域を誇りに思うことで愛郷心が育まれました。大綱引き、子供サンバ、北見ばやしこどもカーニバル、ばんちフリーマーケット、ばんちdeダンス、市民コンサート子供縁日、コスケなど全メンバーが一丸となり笑顔を伝播する例会を開催いたしました。



## 7月第1例会「築き積み重ねてきた軌跡～輝く未来のために～」

7月7日、総務広報・会員拡大委員会のもと、永きにわたり北見青年会議所を築き、支えてこられたOB会員との交流を持ち年代を超えた親近感や結束力を育み、更なる絆を深めるとともに感謝するとともに、JC活動、運動を認識し理解していただいたうえで、今後現役メンバーが展開していく事業や例会へのご協力をいただくための、例会を開催いたしました。



## 8月例会「自然と共に生きる～コミュニケーションから生まれる未知なる可能性～森の探検隊わくわくキャンプin富里

8月5日～7日の3日間、青少年育成委員会のもと、富里森林公園キャンプ場にて、市内小学生30名とキャンプを行いました。この3日間を通じて、我われが地域を担う子どもたちに必要な心豊かな人間性を育むために、自然体験を通じて子どもたちと共に参加、参画し触れ合うことで成長を感じ取り、新たな気づきを得て今後の人財(ひと)づくりへの糧とすることができました。



## 第45次 北方領土返還要求現地視察大会

7月12日、根室の地にて、根室港を出発しロシアが勝手に引いた国境線付近まで船をすすめ、北方領土を船の上から視察をいたしました。北方領土問題に対して強い当事者意識を持ち、問題の解決に向け意識を高める事ができました。



## 第4回 アカデミー道場「輝く未来へ向けて take action!」

8月20日、アカデミー委員会のもと、第4回アカデミー道場として、企業や地域社会において、またJAYCEEとして様々な立場での役割と責任についてについて学ぶべく、近藤先輩を講師としてお招きし、第4回アカデミー道場を開催いたしました。

